

2002年度

大垣市議会議長 様

すべての子どもが、ゆたかに

夢をもって生きることができるための請願署名

いま、学校の中では不登校やいじめ、学級崩壊が多くなり、子どもが生き生きと学校に行けないような状況が増えてきています。将来の社会をになっていくのは、いまを生きる子ども達です。安心して、子育てできる大垣市をめざして、以下の項目が実現されるよう要請します。

1. 小中学校において30人以下学級を実現してください。
まず、早期に小学校1, 2年生で実現してください。
2. 乳幼児医療費助成制度の対象年齢を、義務教育終了(中学校3年)をめざしてください。
来年度より、小学校就学前(6歳児)まで拡充してください。

氏名	住所

署名のしかた 住所、年齢は問いません 氏名は「〃」をしないでください

請願署名団体 子どもサポートネット大垣 代表 田中美帆
 連絡先 〒503-0906 大垣市室町2丁目25番 西濃法律事務所内
 TEL 0584-81-5105 FAX 0584-74-8613

<p>小学校 1, 2 年での30人学級の実現には、大垣市独自でも、25人の教員増、市の負担は年間 700 円（大垣市民 1人あたり）で可能です。</p> <p>（年間 1 億円程度の費用）</p>	<p>全国では、この 4 月から一部でも 30 人程度の学級を実施しているのは、22 道県もあります。</p>
--	---

この 4 月から 25 人学級を実施している埼玉県志木市の小学校の先生のはなし

「毎日、放課後、子どもの 1 日の行動を振り返ると全員の様子が思い出される」「特に小さい子は個人差も大きく個人個人への対応も十分にできるようになった」など大歓迎の声が聞かれました。

実際に志木市を訪問して教育委員会や小学校の先生に聞いてきました。

お隣の愛知県の犬山市でも同じような方式で、30 人学級を実現しようと愛知県に要望しています。

<p>笠松町、柳津町などでは、中学校 3 年まで医療費が無料になっています。大垣市では 4 歳までです。</p> <p>「岐阜県下の乳幼児医療費助成制度はこの 2 年間で大きく前進しました。助成制度の対象期間が県の制度（5 歳未満）よりも長い独自の助成制度をもつ市町村は、99 市町村のうち 70 市町村あります。しかし、残念ながら、大垣市は、県の制度のみです。</p>	<p>中学校 3 年終了まで</p>	<p>笠松町,柳津町,荘川村</p>
	<p>8 歳他</p>	<p>真正町,福岡町,明智町(10才)</p>
	<p>小学校就学前</p>	<p>岐阜市など 10 市 54 町村</p>
	<p>4 歳までで独自助成なし</p>	<p>大垣市,恵那市,各務原市 北方町,穂積町,洞戸村,白川村</p>

教育委員会や市に対するご要望を、自由にお書きください。

行政、教育委員会などへの要望事項（校長さんや学校の先生、高校入試、評価、不登校生に対する学校の対応など）が他にあれば、ご記入ください。この部分は直接には提出しませんが、行政当局や教育委員会との懇談の中で生かしていきたいと思えます。